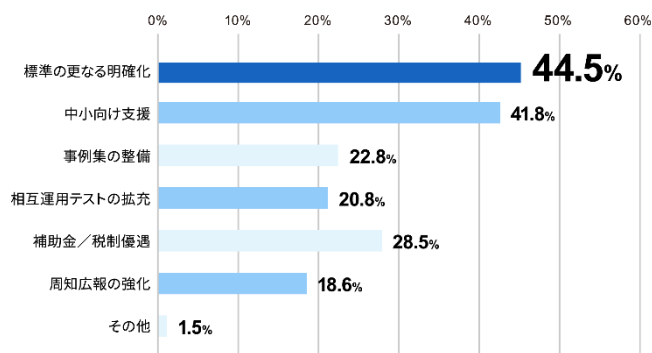


るため、デジタルインボイスの普及を促進させるには標準の理解を深めることが大事だといえるのではないのでしょうか。

デジタルインボイスの普及促進に関し、行政や業界各社に期待することについて、以下の選択肢から選択してください。
(お答えはいくつでも)
(N=2000)



まとめ

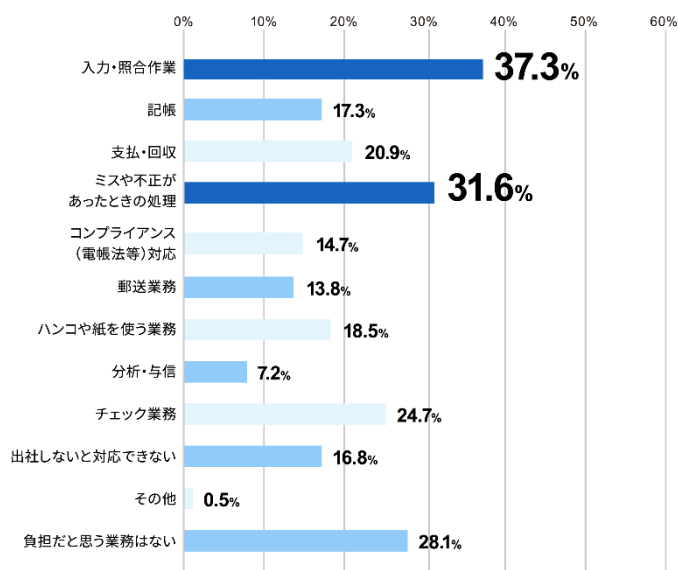
請求書業務のデジタル化やペーパーレス化によって業務効率化の必要性は感じる一方、デジタルインボイスの導入には消極的であったり利用する理由が理解されていなかったりする現状が今回の調査でうかがえました。

一方で、デジタルインボイスを導入している企業では、大きな業務改善効果を感じていることも調査結果にあらわれています。デジタルインボイスの普及がなかなか進んでいない状況において、この効果を享受するためには標準や導入による効果の理解を浸透させることが必要だと考えられるでしょう。

回答結果一覧

特に負担だと思う業務
は何ですか。
(お答えはいくつでも)

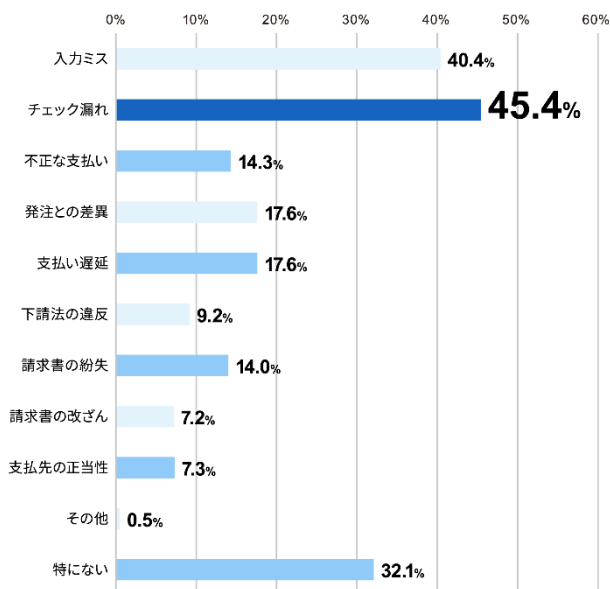
(N=2000)



「入力・照合作業」や「ミスや不正があったときの処理」の業務は負担を感じる人が多い。

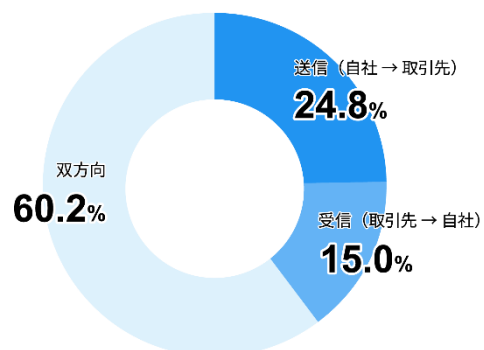
請求書業務におけるガバ
ナンスの課題について、
現在感じているものを
教えてください。(お答え
はいくつでも)

(N=2000)



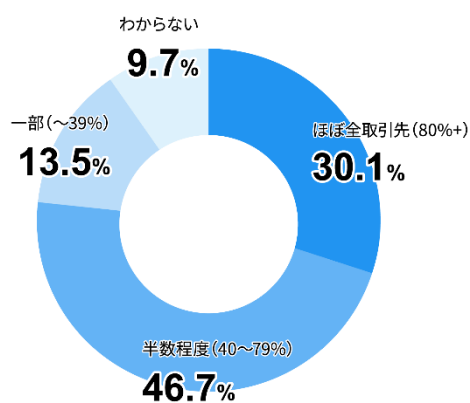
請求書業務のガバナンスの課題は「入力ミス」「チェック漏れ」が多い。

デジタルインボイスの
送受信方向を教えてください。(お答えはひとつ)
(N=319)



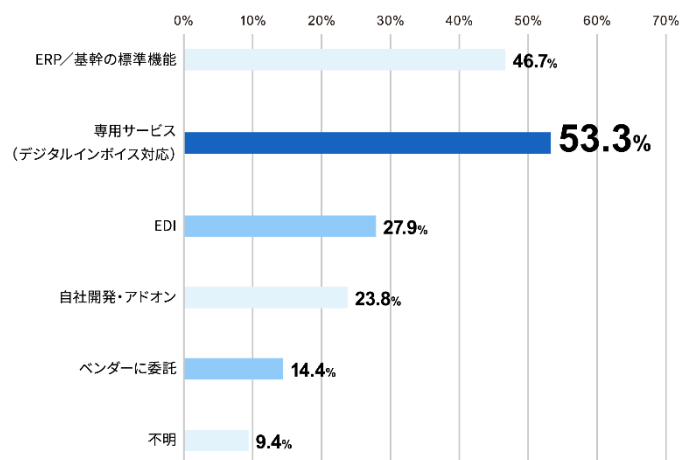
デジタルインボイスは双方向の利用が約6割。

デジタルインボイスの
カバレッジ範囲を教えてください。
(お答えはひとつ)
(N=319)



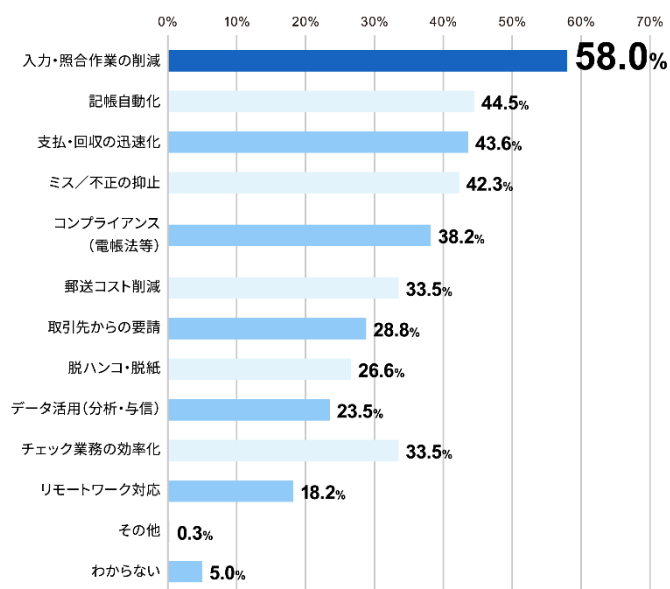
デジタルインボイスのカバレッジ範囲が4割以上の企業は8割近い。

デジタルインボイスを
どのようにして実現して
いるか教えてください。
(お答えはいくつでも)
(N=319)



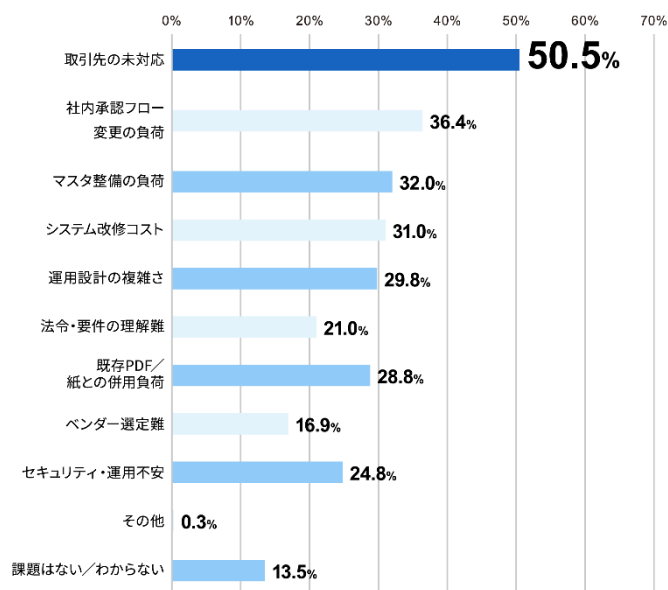
デジタルインボイスは「専用サービス」「ERP」で実現しているところが多い。

デジタルインボイスの
導入目的を教えてください。(お答えはいくつでも)
(N=319)



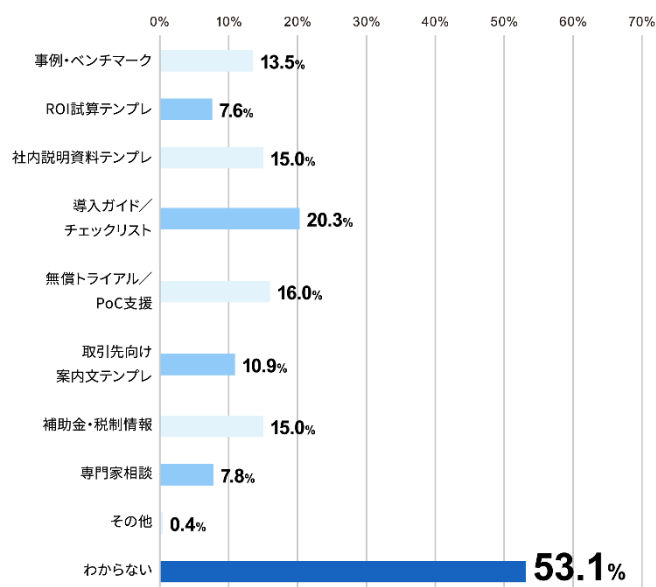
デジタルインボイスの導入で「入力・照合作業の削減」を期待する人が多い。

デジタルインボイスの
課題を教えてください。
(お答えはいくつでも)
(N=319)



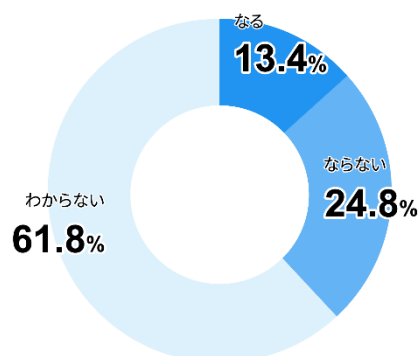
デジタルインボイスで「取引先の未対応」という課題を抱えている企業が5割以上ある。

デジタルインボイスを
利用するために必要な
支援を教えてください。
(お答えはいくつでも)
(N=1681)



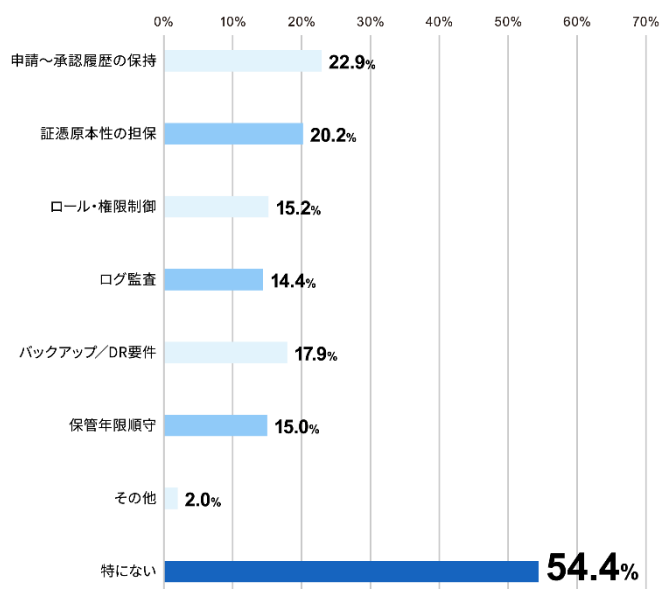
デジタルインボイスの利用に必要な支援を把握できていない企業が5割以上ある。

今後の経理業務関連システムの更改時にPeppolに対応していることはシステム選定の基準になりますか。(お答えはひとつ)
(N=1681)



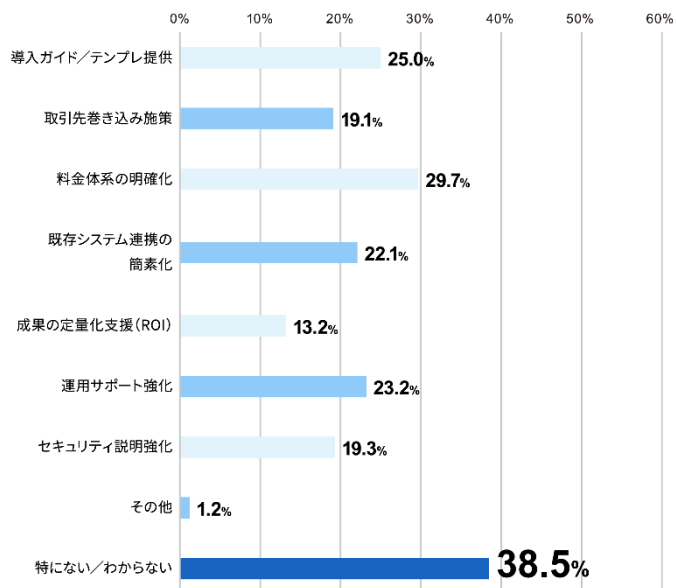
Peppol の理解が低く、対応しているかどうかでシステム選定を判断する企業は少数。

デジタルインボイスの以下の特徴のうち、御社の「内部統制・監査」機能の向上に資すると思うものがあれば、選択してください。(お答えはいくつでも)
(N=2000)



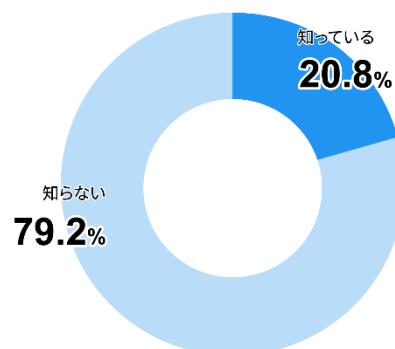
デジタルインボイスが「内部統制・監査」機能を向上させるとあまり考えられていない。

デジタルインボイスの普及促進に関し、ベンダー各社に期待することについて、以下の選択肢から選択してください。(お答えはいくつでも)
(N=2000)



デジタルインボイスの普及促進には料金体系を明確にすることが重要。

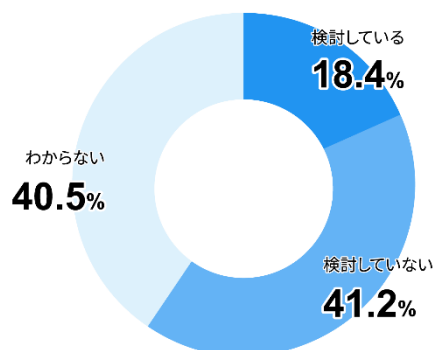
デジタルインボイス等を活用した「デジタルシームレス」の実現に向け、電子帳簿保存法に優遇措置が新設されたことをご存知ですか。(お答えはひとつ)
(N=2000)



「デジタルシームレス」実現への取り組みを把握しているのは約2割。

「デジタルシームレス」
（会計データの自動連携）
の実現のために、電子帳
簿保存法の新優遇措置の
活用を検討していますか。
（お答えはひとつ）

（N=2000）



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%とはなりません

「デジタルシームレス」に向けて対応を検討している企業は2割未満にとどまる。